

私 自分の言葉の影響を見つめる

K 「ばかだ」「僕はばかだ」

↓ 立ち止まり、地面を見つめる



私 [] のように感ぜられた

K 「もうその話はやめよう」「

…目や言葉に [] などいろいろがある

私 「ただ口の先でやめたっただけかた

があるまい。君の心でそれをやめ

るだけの [] がなければ」



[] = 答え

K 背の高いKが委縮して小さくなる

感じがして、ようやく [] した

K 突然と「覚悟っ」「覚悟ならならん

ともない」「

↓ ほとんど口をきかず帰宅

